

作業療法おかやま 投稿規定 (‘10. 3. 31 付) (‘21. 2. 2 一部改訂) (‘21. 11. 2 一部改訂)

1. 投稿内容について

作業療法の学術的発展に寄与する論文として、「総説」、「研究論文」、「実践報告」、「事例報告」、「短報」(以下、論文)の投稿を随時受け付けます。ただし他誌に発表された論文、または投稿中の論文はお断りします。

2. 倫理的事項について

著者は、著作権や研究対象者の人権の尊重に努めて下さい。また、論文に関連する企業や営利団体等との利益相反(COI)のある場合は明記して下さい。

3. 著者について

筆頭著者は原則として県士会会員に限ります。共著者は本会会員でなくても構いませんが、作業療法士の場合は本会会員であること、当該年度(投稿時)の会費を納めていることを条件とします。なお著者の数は原則として5名までとします。

4. 論文の種目と長さについて

論文の種目と長さの基準は以下の通りです。なお、表題頁、要旨と英文要旨、は規定枚数には含まないものとします。

①総説：作業療法および作業療法関連科学の特定のテーマについて、過去の研究を概観し、将来的展望を視野においた組織的な論評および総括。論文の長さは、本文、文献、図・表合わせてA4用紙(20字×20行)32枚以内とし、図・表は10点以内とし1枚に1点を配置する(用紙1枚分は本誌の1/4頁に相当)。

②研究論文：実験、調査、臨床経験、理論研究などから得られた独創的で斬新な知見を含む結果の考察および記述。論文の長さ、図・表は①に準じる。

③実践報告：特色ある作業療法実践に焦点を当てた報告。治療手段としての活動、道具(自助具、遊具、生活用具)、情報、アイデアの紹介。論文の長さは、本文、文献、図・表合わせてA4用紙(20字×20行)24枚以内とする。図・表は5点以内とし1枚に1点を配置する。

④事例報告：はじめに、事例呈示、結果、考察、結語などでまとめて下さい。論文の長さ図・表は③に準じる。

⑤短報：独創性のある所見、見解の速やかな発表を期待するパイロット的研究報告。後に詳しい「研究論文」として書くことが期待される。論文の長さは、本文、文献、図・表合わせてA4用紙(20字×20行)8枚以内とする。図・表は1枚1点以内とする。

5. 執筆要領について

後出の「執筆要領」に従って下さい。

6. 採否について

原稿の採否は学術誌編集委員会において決定します。場合により、加筆、修正をお願いすることがあります。また編集委員会の責任において、多少の字句の訂正をすることがあります。

7. 再投稿について

修正後再査読の論文は6ヶ月以内に再投稿して下さい。それを過ぎた場合は新規投稿として扱われます。

8. 別刷進呈について

各論文の筆頭著者に別刷30部を進呈します。

9. 投稿の手続きについて

①執筆形式の確認：後出の執筆要領にそって確認してください。

②投稿の方法：論文は3つのMS-Wordファイル(表題頁、要旨と英文要旨、本文と文献)と、図・表は1つの図や表ごとに1点ずつのファイル(PDFファイル)とし、メール添付で以下のアドレス宛に送付して下さい。

③投稿の承諾：自筆署名・押印後の学術誌「作業療法おかやま」投稿承諾書は、PDFファイルで原稿と同様に送付して下さい。

岡山県作業療法士会学術部学術誌編集委員会
E-mail otokayama@gmail.com

*掲載された論文の著作権(著作人格権、著作財産権)は著者に帰属します。著者は(一社)岡山県作業療法士会へ、同士会が公益事業に役立てるために行う掲載論文の複写・複製・翻訳・翻案・要約・電子化・公衆送信および第三者への転載許諾の権利を譲渡するものとします。

作業療法おかやま 執筆要領 (’10. 3. 31付) (’18. 1. 29一部改訂) (’21. 11. 2一部改訂)

- 論文はMS-Wordで作成し、A4横書き20字×20行(印刷の向きは縦)に書式設定してください。
- 論文は、表題頁、要旨、本文、文献、図・表から成るものとします。また必ず英文要旨をつけて下さい。
- 表題頁には、論文種目(研究論文、実践報告など)、表題、著者名(5名まで、「投稿規定」3を参照)、所属、キーワード(学術誌「作業療法」第35巻第6号掲載のキーワード集より3~5個)を記載して下さい。また同じ頁に、これらに対応する英訳をつけて下さい。
- すべての論文に300字以内の要旨と100~250ワードの英文要旨をつけて下さい(短報、実践報告の場合も同じ)。英文要旨は、著者の責任において、適正な英文原稿を提出して下さい。なお、学術誌編集委員会では英語を母国語とする人に英文の点検を依頼していますので、委員会の責任において、英文を変更させていただくことがあります。
- 論文の本文は、原則として、はじめに、方法、結果、考察、結論が明らかになるように書いて下さい(特に「研究論文」の場合)。また、原稿には頁番号をつけて下さい。
- 文章表現は以下の点に留意して下さい。
 - ①現代かなづかいとし、数字は算用数字、数量は国際単位系(SI単位)記号を用いる(例:m、cm、mm、ml、kg、cm²など)。
 - ②外国人の人名には原語を用い、活字体で明瞭に書く。
 - ③学術用語はできるだけ訳語を用い、必要に応じて()内に原語を入れる。日本語化しているものはカタカナとする。
- 倫理上の配慮について
論文として掲載される研究は、調査・研究の倫理的原則に従ったものである必要があります。投稿者は研究対象者の権利を尊重した表現を行う義務があります。編集委員会は、必要に応じて、これらの事項に関する証明を投稿者をお願いすることがあります。なお倫理審査を経ている場合は、承認番号(ない時は、承認年月日)を記載して下さい。また、利益相反(COI)のある場合は、本文の最後(文献の前)に明記して下さい。
- 引用・転載について
論文作成にあたっては、著作権についての配慮を行って下さい。論文中に他の著作物からの引用を行うときには、その出典を明記して下さい。また、引用の範囲を超えた「転載」には、著作権者やその著作物の出版社の許諾が必要です。論文が掲載されるために必要となる「転載」についての手続きは、投稿者が責任を持つこととします。
- 文献リストは引用文献のみとし、著者の姓のABC順または引用順に配列して下さい。著者名は、5名までを記載し、6名以上は“他”とすることを原則とし、表記の形式は以下の例にならして下さい。

【雑誌の場合】著者：論文タイトル. 雑誌名 巻数(号数)：開始-終了ページ, 発行年.

【書籍の場合】
[和書]著者(訳者・訳)：章タイトル. 書籍の編者・編または監修者・監修, 書名(巻数)版数, 出版社, 発行都市, 発行年, pp.(開始-終了ページ)またはp.(単ページ).

[洋書]著者：章タイトル. 書籍の編者・編または監修者・監修, 書名(巻数)版数, 出版社, 発行都市, 発行年, pp.(開始-終了ページ)またはp.(単ページ).

 - 1) 岩間孝暢, 原 英修, 清水 一：座位保持機能未獲得な重症心身障害児の姿勢と感覚遊び刺激に対する反応. 作業療法11：358-365, 1992.
 - 2) 中村隆一, 齊藤 宏：基礎運動学. 第3版, 医歯薬出版, 東京, 1987.
 - 3) 米倉豊子：内科的疾患に対する作業療法. 原, 鈴木・編, 作業療法各論(リハビリテーション医学全書10), 医歯薬出版, 東京, 1978, pp.393-406.
 - 4) Witt A, Cermak S, Coster W:Body part identification in 1- to 2-year-old children. Am J Occup Ther 44:147-153,1990.
 - 5) Enna CD:Peripheral Denervation of the Hand. Alan R Liss Inc., New York, 1988.
 - 6) Reid J:Computer and occupational therapy. In Creek J(ed), Occupational Therapy and Mental Health. Churchill Livingstone, New York, 1990, pp.267-288.
 - 7) Pinel P (影山任佐・訳)：精神病に関する医学＝哲学論. 中央洋書出版部, 東京, 1990.
 - 8) Cook AM, Hussey SM (上村智子・訳)：作業療法実践のための電子支援技術. Pedretti・編著(宮前, 清水, 山口・監訳), 身体障害の作業療法, 改訂第4版, 協同医書出版社, 東京, 1999, pp.583-599.
 - 9) Chung JCC:Using problem-based learning (PBL) with Hong Kong occupational therapy students:Opportunities and challenges. Asian J Occup Ther 2:10-22, 2003. (on line), available from <http://www.jstage.jst.go.jp/article/asiajot/2/1/10/_pdf/-char/ja/>, (accessed 2003-12-21).
 - 10) 日本作業療法士協会：学術誌「作業療法」論文投稿に関する倫理指針. https://www.jaot.or.jp/academic_journal/gakujutsushi_rinri/ (参照 2020-06-15).
- 図・表は次の点に留意して下さい。
 - ①図は白黒で印刷されるので、鮮明でそのまま製版できるものを準備する。ただし、カラー印刷の希望がある場合は、学術誌編集委員会へお問い合わせ下さい。
 - ②写真(図として扱う)は、カラー写真より白黒写真の方がきれいに仕上がる。トリミングを工夫する。
 - ③図・表はすべて表題をつけ、それぞれを本文とは別にまとめる。図・表は必要があれば説明文も入れる。
 - ④本文中および欄外に図・表の挿入場所を明示する。
 - ⑤引用・転載の図・表は、それぞれの出典を明記する。

学術誌「作業療法おかやま」投稿承諾書

学術誌「作業療法おかやま」編集委員会 殿

下記論文を、岡山県作業療法士会学術誌「作業療法おかやま」に投稿いたします。本論文は、今までに他誌に掲載済み、あるいは投稿中でないことを誓約します。また、本論文を投稿するにあたり、共著者も投稿することに同意し、その内容に責任を持つことを承諾いたします。

論文題名 _____

筆頭著者署名 _____ 印 会員番号 ()

共著者署名 _____ 印 会員番号 ()

※非会員である場合は、会員番号欄に職種名をご記入ください。

投稿原稿チェックリスト

投稿時に下記チェックポイントで再度ご確認の上、✓を記入してください。

- 最新の投稿規定と執筆要領は十分に読まれましたか？
- 倫理審査を得ている場合は、承認番号（ない時は、承認年月日）が記載されていますか？
- 利益相反（COI）として開示する内容はありますか？ あり なし
- 利益相反のある場合は、論文の本文最後（文献の前）に書かれていますか？
- 論文の内容に新規性（オリジナリティ）はありますか？
- 論文種目（総説・研究論文・実践報告・事例報告・短報）は適切ですか？
- 論文の長さ、図表の数は論文種目に対して適切ですか？
- 著者の人数は適切ですか？
- 論文に研究目的が明確に示されていますか？
- 英文の表題は、内容を適切に表現し、和文の表題と整合していますか？
- 文献リストは執筆要領に従って書かれていますか？

年 月 日提出